

# 市立川島中だより第20号

令和元年11月13日発行

吉野川市立川島中学校

文責：学校長

TEL 25-2734

## 「授業参観・合唱コンクール ありがとうございました。」

朝夕はめっきり寒くなりました。校門で立哨していると手袋が必要だなと感じます。さて、11月4日(月)の「授業参観・合唱コンクール」はありがとうございました。授業参観では11月5日に「世界津波の日」があることから避難所での人権についての授業でした。この「世界津波の日」は1854年11月5日に和歌山県で起きた大津波の際に、村人が自らの収穫した稲むらに火をつけることで早期に警報を発し、避難させたことにより村民の命を救い、被災地のより良い復興に尽力した「稲むらの火」の逸話に由来しています。



災害と人権侵害とは切り離せない関係にあります。今年も台風19号による被害が多くの人命を奪い、メディアを通して避難所での不自由な暮らしをまのあたりにしました。また、風評被害や避難先での被災者に対する心ない対応などもあります。10年ほど前のことです。私が南あわじ市に勤務しているときに、風評被害に遭ったある県から桃が届きました。とってもらっぱな桃ですが、職員の会話の中で「これ持って帰って、子どもには食べさせられないね・・・」と何気ない会話の中反論もできず、なんとも言えない無力感を感じたことがあります。

## 「合唱コンクールで、クラスの団結や仲間を大切にすることを見せてくれました。」



授業参観後に伝統行事である合唱コンクールが実施されました。全員が真剣に臨みました。本当に合唱態度も聴く態度もよかったです。とても素晴らしいものでした。

審査の結果、3年A組がコンクール金賞。銀賞・銅賞に2年A組と3年B組がそれぞれ選ばれました。しかし、どのクラスも本当に素晴らしかったというのが実感です。態度はもちろんのこと、一つになってひた

すら歌っているみんなの表情、工夫を凝らした学級紹介、指揮とピタッと合っている一人一人の声の豊かさ、また、目に見えるものだけではなく、歌っている人の気持ちや思いが合唱を通して伝わってきました。今日までいろいろとクラスで協力してきた中で、クラスの仲間が助け合ったり、支えあったり、認め合ったりしながら、一つになった結果です。3年生は最後の合唱コンクールとなりましたが、今日の合唱はもちろんのこと、練習過程での思い出を宝物として大切にしたいと思います。また、11月6日(水)には鴨島一中で市中音楽祭がありました。本校の吹奏楽部と3年生全員が参加し、演奏と合唱を披露しました。こちら各学校工夫を凝らしての音楽祭でした。本校の生徒達もとても素晴らしい演奏と合唱でした。特に3年生全員での合唱、「旅立ちの日」は思わず涙が出そうになるくらいでした。ケーブルテレビで放送されると思いますので、ご覧になっていただけたらと思います